

Sensations17

センセーションズ セブンティーン

～絹谷幸二と17人の仲間たち～

■8月27日(水)～9月2日(火)

■日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊 <最終日は午後4時閉場>

◎ギャラリートーク 8月30日(土) 午後2時～

絹谷幸二氏に聴く

この度、独立美術協会で活躍する画友十七人にお声がけし、センセーションズ セブンティーンという会名でグループ展を立ち上げるようになった。

秋の本展直前の真夏に一汗も二汗も、『冷汗』もかいて勉強会をし、本展への助走となれば良い、といったおもむきか。大作のエスキースが、中・小品に結実した作になるか、又は三越日本橋店というあらたまった発表の場を得て、進取の気性に満ちた新しい発見の作になるか…この展覧会の楽しみはつきない。

そして独立という名が示すとおり、各個人がそれぞれに独立し、群れずお互いに切磋琢磨し、個性の翼を大きくはばたかせる場となればこれ以上の喜びはないといえるのだろう。



1943年	奈良県に生まれる	1987年	第19回日本芸術大賞受賞
1966年	東京藝術大学絵画科油画卒業	1997年	長野五輪公式ポスター原画制作
1967年	第34回独立賞受賞	2001年	第57回日本藝術院賞受賞
1968年	独立美術協会会員に推挙される		日本藝術院会員に任命される
1971年	渡伊しアブレスコ画を研究	現在	東京藝術大学名誉教授 大阪芸術大学教授
1974年	第17回安井賞受賞		日本藝術院会員 独立美術協会会員

三越美術部新聞

Fine Art Mitsukoshi Nihonbashi Store
発行: 三越美術部
発行所: 東京都中央区
日本橋室町1-4-1
TEL: 03-3241-3311
http://www.mitsukoshi.co.jp/art

大泉 佳広 おおいずみ よしひろ



見たモノを描こうとすると、怖気づいてしまう自分がいる。感じたコトを表そうとすると、独りよがりのダサイ自分がいる。空想の世界を組み立てていて、楽しんで自分がいる。やっぱり、これからも楽しんで制作していきたい。

1973年	三重県に生まれる
2006年	石川県現代美術展 美術文化特別賞
2007年	金沢美術工芸大学大学院修士後期課程修了(芸術) GEISAI #10 サークアル賞(ホリトイズミ)
2008年	独立展 独立賞
2009年	個展(アートコンセプト 金沢)、個展(関ヶ原 新橋)
2010年	大泉佳広展～帰郷～(松阪市文化財センター 三重)、carre a zurich(チュールッヒンシュランスカンパニー スイス)、上海世博会中・日・韓美術作品交流展覧会(上海美術館 中国)、英展 佳作賞
2014年	個展(関ヶ原 新橋)、IZUBI 佳作賞
現在	独立美術協会会員 宮崎大学教育文化学部准教授

石井 武夫 いしい たけお



自分自身が納得できるように描き、それが見てくれる人々に共感して頂けたらどんなに幸せかと思うが、今まで心からそう思ったことがない。描いている時や出来上がった後の短い時間にはそれが出来そうだという高揚した気分も味わうことがあるが、いつか確かな実現をしたい。

1940年	千葉県に生まれる
1964年	東京教育大学教育学部専攻科・芸術修了
1968年	独立展入選 後、小林賢、野口賞、独立賞 等受賞
1974年	個展(ギャラリー21)開催 後、文春、紀伊国屋等で44回開催
1977年	安井賞展 佳作賞
1979年	明日への具象展、後、現代美術選抜展、日本青年画家展等出品
1981年	筑波大学助教授となる 以後教授、名誉教授となる
1999年	文化庁芸術家在外研修員としてフランスENSBAで研修
2004年	大阪芸術大学教授となる 2011年退任
現在	独立美術協会会員 日本美術家連盟委員 筑波大学名誉教授

五十里 雅子 いかり まさこ



素敵なフォルムが一旦現れると、テンションが上がって、次々に何かが舞い降りる感覚にとらわれる。そんな時こそ、いや待て…としばらく留まることに決めている。作品との微妙な距離感が、感覚を研ぎ澄ますための大切な条件である。

1963年	神奈川県に生まれる
1988年	筑波大学大学院芸術研究科修了
1990年	かわさき市美術展 最優秀賞・市長賞
1998年	独立展 新人賞(04) '01奨励賞(06'08)'05佳作賞 '07高島賞 '09独立賞
1993年	神奈川県女流美術家協会展 協会賞 '95フナオカキャンパス賞 '00安藤為治賞 '10第50回記念賞
2009年	損保ジャパン美術財団選抜奨励賞
作品收藏	筑波大学、川崎市民ミュージアム
現在	独立美術協会会員

大塚 利典 おおつか としのり



和服姿の女性は常ならぬ美しさに輝きます。現代では日常での着用の数は随分減りましたが、それでも時々見掛ける和装の女性には思わず目を奪われます。『輝け・独立美術 独立美術協会80回記念展』では和装の女性(30号)を描きましたが、今回もまた季節柄もあり浴衣の女性を描くことになりました。お楽しみ頂ければ幸いです。

1948年	埼玉県に生まれる
1972年	大橋賞
1974年	東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻壁画修了
2007年	第75回独立展 独立賞
2008年	独立展会員推挙
	個展(銀座アトリエズキ)
2012年	輝け・独立美術 独立美術協会80回記念展(日本橋三越)
他個展、グループ展多数	
壁画(フレスコ画)、ステンドグラス制作多数	
現在	独立美術協会会員 日本美術家連盟会員 埼玉県美術家連盟会員

梅野 顕司 うめの けんじ



最近では、水彩とクレパスばかりで描いていたので、久々にいじる油絵具は新鮮だ。こってりした絵の具の感触。これは油絵具じゃないと味わえない。そして、慣れ親しんだテレビンの香り。油絵は、こうでなくちゃと思う。いい絵、描けるかな。

1962年	千葉県に生まれる
1988年	東京藝術大学卒業 サロン・ド・ブランタン賞受賞
1990年	安井賞展出品
1991年	安井賞展出品
1993年	東京藝術大学大学院後期博士課程修了
現在	独立美術協会会員

井澤 幸三 いざわ こうぞう



かつて実在したとしても、興味の対象はそこにはありません。絵に描くべきものは、私の心の中にしか存在しないもの。と思っています。

1956年	奈良県に生まれる
1977年	第45回独立展初入選(86新人賞 '89奨励賞 '94独立賞)
1980年	京都市立芸術大学美術専攻科修了
1981年	東京セントラル美術館油絵大賞展 佳作賞
1984~1988年	日本青年画家展('88'優秀賞)
1985年	安井賞展入選('88'93'95)
1990年	両洋の眼・現代の絵画展('91'92'93'95'96'05'07'08'09)
現在	独立美術協会会員

本田 希枝 ほんだ きえ



人は一生のうちだれでも、どこかで一度、時代の大きな転換に出会うらしいことを痛感しています。科学技術、産業技術の進歩は、私は化石かとおもってしまいましたが、文化はどうもそのことに比例しないようで、わずかでも自分の居場所があってよかったなとおもいます。もっと先、人はどんな絵を描いているのでしょう。

1945年	神奈川県に生まれる
1971年	東京藝術大学美術学部大学院修了
1984年	独立展独立賞('86)
1985年	現代美術選抜展(文化庁主催)
1986年	東京セントラル美術館油絵大賞展 佳作
1993年	「絵画の今日」IMA展
1994年	安井賞展 安井賞
2002年	日本秀作美術展
2003年	「輝け日本油画」
現在	独立美術協会会員

佃 彰一郎 つくだ しょういちろう



独立展に初出品してから29年になりました。多くの先輩、友人、後輩の皆様から沢山のご指導と刺激を頂いて今日まで絵を描くことが出来たと思います。そして今回の展覧会を新たな節目の第一歩と位置付けて制作を続けて行きたいと考えています。

1963年	大阪府に生まれる
1986年	独立展初出品
1988年	武蔵野美術大学大学院修士課程修了
1991年	第2回浅井忠記念賞展
2000年	小磯良平大賞展
2002年	独立展独立賞
2007年	昭和会展 前田寛治大賞展
現在	独立美術協会会員 茨城キリスト教大学教授

向井 隆豊 むかい りゅうほう



独立創立前後(関東大震災1923年 1930年協会設立1926年 第1回独立展 1931年 満洲事変1931年 日中戦争 1937年)に起こった自然現象や政治・社会の変化が2011年の東日本大震災の後の流れ―人の心に及ぼす変化と呼応していないか不安を感じる。

1950年	兵庫県に生まれる
1975年	初個展開催(みゆき画廊)
1976年	第43回独立展初出品 東京芸術大学油画科卒業
1977年	第20回安井賞展(西武美術館)出品('79'93'94)
1981年	第3回明日への具象展出品
1984年	第52回独立展 高島賞
1986年	第54回独立展 独立賞
1987年	独立美術協会会員に推挙される
2014年	佐久市近代美術館新収蔵作品展
現在	独立美術協会会員

半那 裕子 はんな ひろこ



絵画は生活に潤いをもたらし、人の心を支えます。沢山の方に、その魅力を伝えることが、私の願いです。

1956年	東京都に生まれる
1979年	武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業
1985年	ボストンにて銅版画研修
2007年	文化庁芸術家在外研修員として渡米 J・ボール・グッティ美術館、イェール大学で研修 SOHO National Affiliates Exhibitionに参加(チェルシー・ギャラリー ニューヨーク)('09)
2007年	
現在	独立美術協会会員

目黒 礼子 めぐろ れいこ



最近の絵のモチーフは主に動物の骨や昆虫標本、理科室にあるような古い実験道具、ガラスでできた華奢なものなどです。無機質で生命感のないものに感覚的に惹かれます。これらのモチーフに囲まれて真夜中に制作をしていると、なんだか妖しい気分になります。

1972年	東京都に生まれる
1997年	女子美術大学大学院修了
2004年	世界らん展 日本大賞・奨励賞・トロフィー賞
2006年	トーキョウワンダーウォール2006 トーキョウワンダーウォール賞
2007年	多摩秀作美術展 佳作賞
2008年	青木繁記念大賞展入選
2009年	損保ジャパン美術財団奨励展
2013年	公募団体ベストセレクション美術2013年
2014年	前田寛治大賞展
現在	独立美術協会会員 女流画家協会会員 日本美術家連盟会員

廣田 政生 ひろた まさお



自身の制作において最も重要なことは「存在感の質を獲得すること」であると考えています。一向に答の出ない制作の中で、偶然であれ必然であれ、そのことが導き出された時が、私にとっては、まさにSensationな出来事との対面の瞬間であります。

1955年	滋賀県に生まれる
1980年	京都市立芸術大学美術専攻科修了 日本国際美術展
1982年	実験工房GOUTの活動に参加(～'90)
1990年	BAO芸術祭('91)
	独立展 奨励賞('95'96'97)'98独立賞
1999年	独立展会員推挙 現代美術選抜展(文化庁主催)
2004年	日独現代美術交流展(ベルリン)
現在	独立美術協会会員

加藤 啓治 かとう けいじ



記憶というものはしだいに薄れていくものです。人との出会いや別れ、自身の生活体験をモチーフに「時の記憶のイメージを次の世代につなぐこと」をテーマとして制作しています。彷徨いながらもそのイメージを映像化していきたいと考えています。

1953年	群馬県に生まれる
1977年	第1回上毛芸術奨励賞(上毛新聞社)
1983年	東京藝術大学大学院油画(中根寛教室)修了
1984年	第35回群馬県美術展(県立美術館)第1回山崎記念特別賞
1991年	高崎の美術・今展(高崎市美術館)
1997年	第65回独立展 独立賞
1998年	昭和会展 第17回安田火災美術財団奨励賞(東郷青児美術館)
2001年	現代美術選抜展(文化庁主催)
2006年	高崎市ゆかりの作家達(高崎市立美術館)
現在	独立美術協会会員 群馬県美術会会員・常任理事

金森 良泰 かなもり りょうたい



私の作品は生乾きの漆喰壁に顔料を水で溶いて彩色するフレスコ画技法で制作します。乾燥後、ストラップ技法で漆喰壁から剥離してパネルに移し替えます。漆喰壁特有の乾いた絵肌をマチュールとしています。フレスコ画技法と共に時空を超えた幻想的な空間表現を目指したいと思います。

1946年	奈良県に生まれる
1973年	東京藝術大学大学院壁画研究室修了
1978年	現代美術選抜展(文化庁主催)
1980年	第48回独立展 独立賞
1987年	第4回日本青年画家展 優秀賞
1988年	奈良シルクロード博 協賛自選展(奈良県文化会館)
2002年	薬師寺展 奉納散華制作(日本橋三越)
2011年	紺綬褒章('13)
2012年	金森良泰の世界―大和望郷―(奈良県立万葉文化会館)
現在	独立美術協会会員 千葉大学名誉教授

竹下 勝雄 たけした かつお



梅雨のこの季節、富士を望む甲斐の里山には夥しい数の白い蝶が群れ集まる。学名はウスバシロチョウという高山地帯に生息するアゲハ科の蝶である。薄く透き通った翅を大きく揺らしながら舞う姿が、まるで御仏に仕える飛天の如く神々しい。

1964年	埼玉県に生まれる
1991年	東京藝術大学大学院修了
2001年	国際交流基金派遣にて滞欧
2002年	第20回上野の森美術館絵画大賞展 大賞
2004年	個展(吉井画廊)
2010年	個展(在ベルギー日本大使館(朝日新聞文化財団助成))
2011年	文化庁芸術家在外派遣員として滞欧
現在	独立美術協会会員 臨床美術学会会員 公立大学法人都留文科大学教授

福満 正志郎 ふくみつ しょうろう



Sensationは仏語ではサンサンオンとなる。セザンヌはサンサンオン(感覚)を実現と言っている、その困難さに苦闘した。しかし「サント・ヴィクトワール山」をはじめ彼の作品群は、彼のサンサンオンが充滿し、観者はその大事件の共犯者であるようなダイナミズムを感じさせられる。私自身もそのような絵画を目指したい。

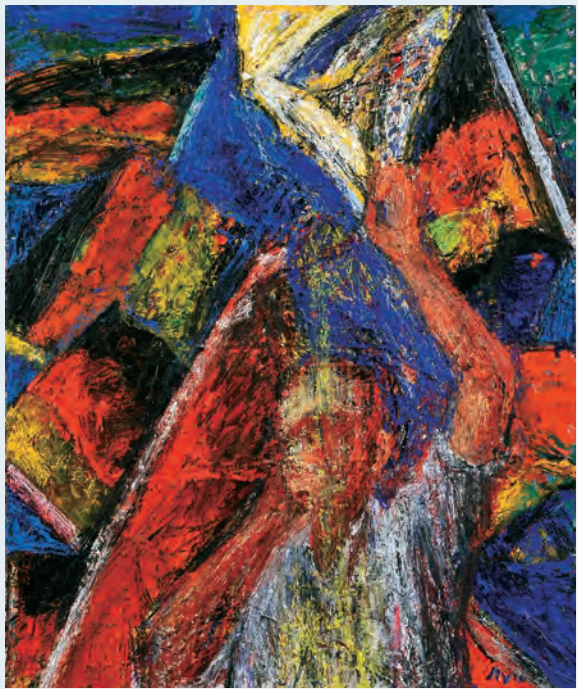
1961年	鹿児島県に生まれる
1985年	第53回独立展 以後毎年
1987年	筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了
1996年	第39回安井賞展 第30回現代美術選抜展(文化庁主催)
1998年	個展(千葉県佐倉市立美術館)
1999年	第67回独立展 独立賞
2000年	第68回独立展 会員推挙
2002年	個展(茨城県つくば美術館)
2007年	絵画の現在展(鹿児島市立美術館)
現在	独立美術協会会員 筑波大学芸術系准教授

多見谷 恭子 たみや きょうこ



造形として可は、否か。つまりは芸術の域に達しているか、そうでないか。制作の良心の話である。若い頃、恩師のウケウリに過ぎなかったその言葉は、制作の孤独を照らしたただ一条の光となった。たくさんの仲間がそれぞれに抱く光の収斂、そのなかに在ることを感謝している。

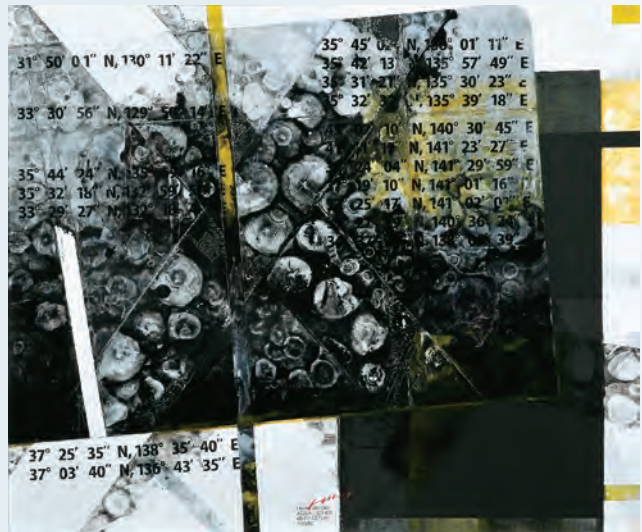
1962年	石川県に生まれる
1986年	武蔵野美術短期大学専攻科修了(現在同大学造形学部にて改組転換)
	独立展初出品 '97 新人賞 '98 独立賞
1995年	東京セントラル美術館 油絵大賞展
1999年	文化庁現代美術選抜展
2001年	損保ジャパン美術財団選抜奨励展 優秀賞
2002年	個展(紀伊国屋画廊第32シリーズ展)
2003年～	個展(茨城県つくば美術館)
2010年	輝け・独立美術(日本橋三越)('11'12)
現在	独立美術協会会員 日本美術家連盟会員



wave-flag/F20/向井 隆豊



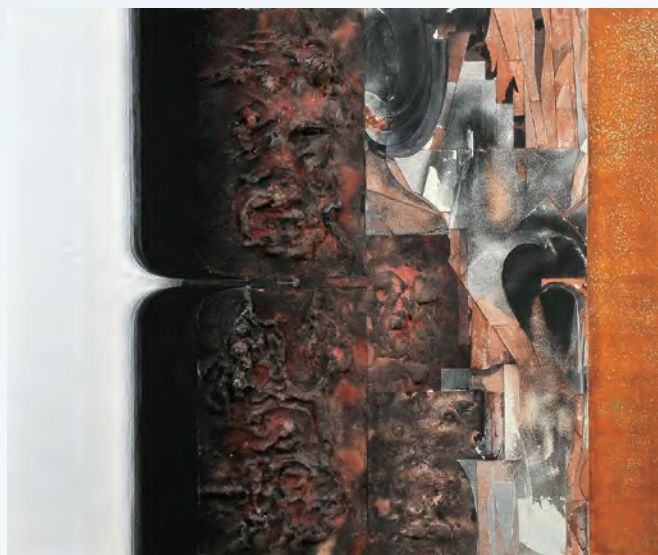
追憶2014/F20/加藤 啓治



AQUA-201406/F20/廣田 政生



Yellow Night・二人/F20/福満 正志郎



飛天/F20/竹下 勝雄



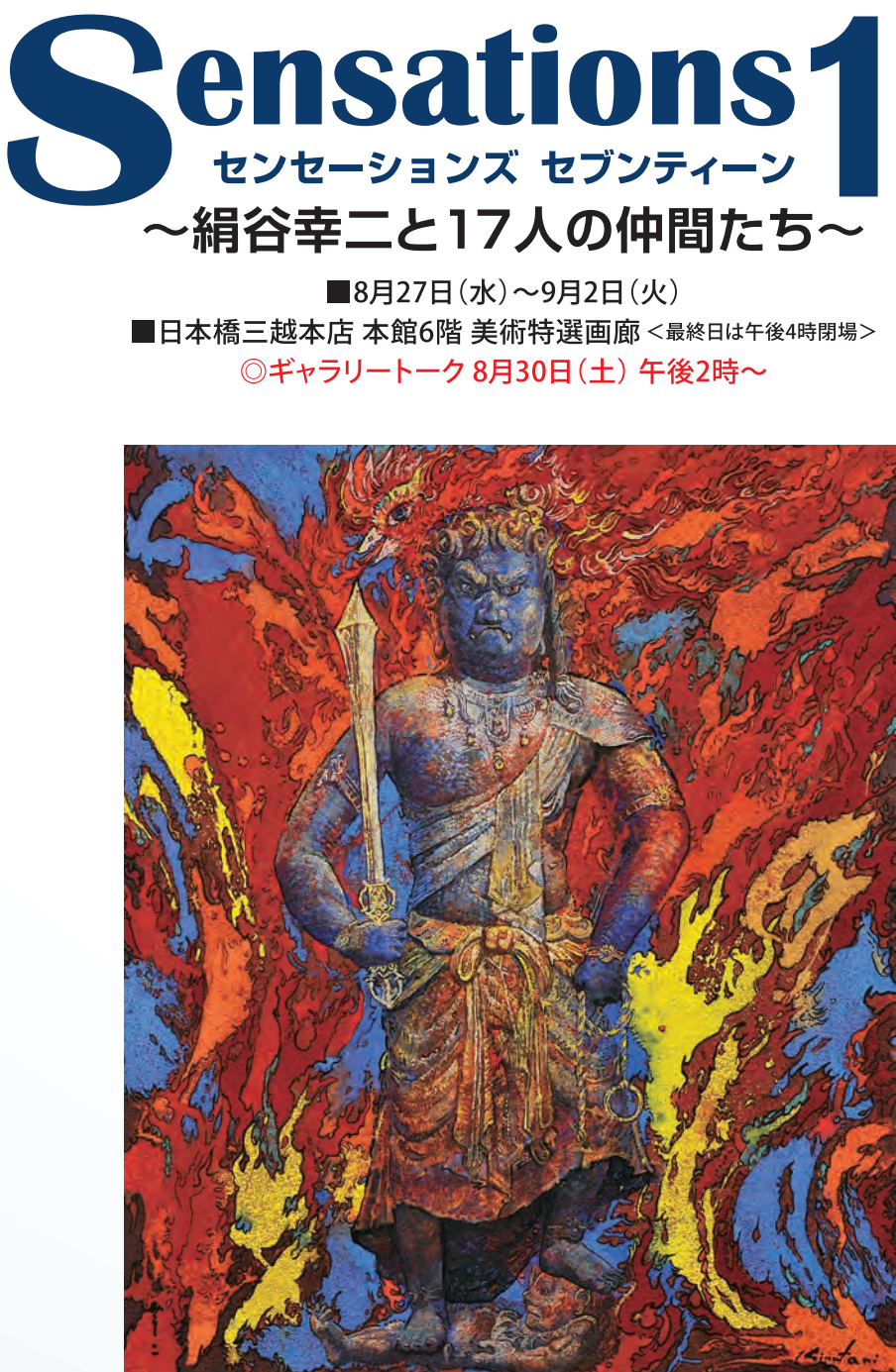
森の奥/F20/本田 希枝



Laminando/F20/五十里 雅子



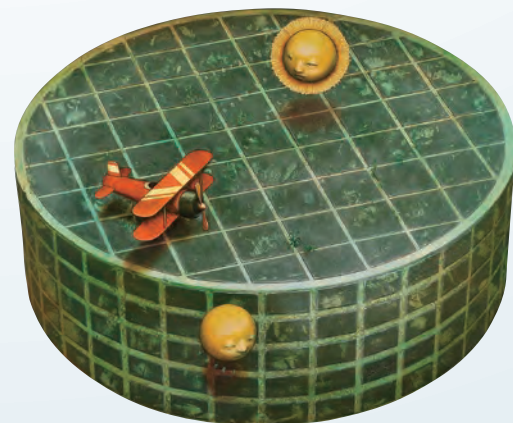
風景/M15/梅野 顕司



炎々不動明王/F20/絹谷 幸二



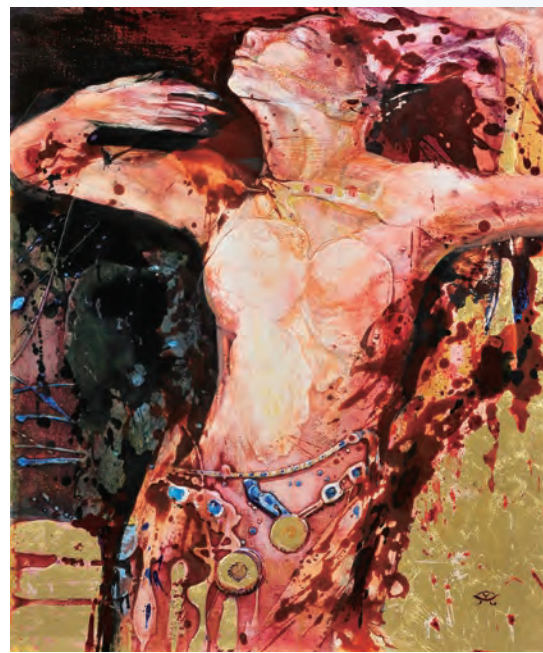
装いの前に/S20/大塚 利典



SORA WO SAGASHINI/66.5×79.5cm(楕円)/大泉 佳広



不思議の国/S20/半那 裕子



誕生/F20/多見谷 恭子



コレクション/F20/目黒 礼子



床の上の静物/F20/石井 武夫



エリダヌス/M20/井澤 幸三



石舞台/M20/金森 良泰



飾る日も 飾らない日も 三越と
MITSUKOSHI
日本橋本店
www.mitsukoshi.co.jp